

	質問	回答
1	野球部の次に地域移行される種目や分野は決まっていますか？	現時点では野球部を先ほどご説明したデータ等から1番先に少子化の影響が強く出ることによって選ばせていただきました。しかし、2個目、3個目、これ以降については、令和7年度において基準や選び方などを検討しながら前に進んでいきたいと思います。そのため、1年後の次の種目や分野というものを、現時点はお伝えできない状況です。
2	次に地域移行される種目や分野は、年度の途中で決まったり、地域クラブ化されることはありますか？	「板橋区立中学校部活動地域移行推進ビジョン2030」に基づいて、学校部活動にある種目を1年間かけて準備してきました。 年度の途中での決定については、基本的にはないと思います。理由としては、非常に大きな予算を必要とします。全中学校にその部活動があれば22チーム、そこに指導者を1チーム2人配置すると、44人の人件費を確保する必要があります。そういう意味では、新年度予算をしっかりと組む必要があり、その新年度予算の構想を発表されるのが、今年で言うと1月28日であるため、年度途中での予算確保が難しいことから、年度途中のいたばし地域クラブの個別クラブ創設は基本的にはないと思っています。
3	部活動の野球部と地域クラブチームに所属しています。地域移行となる場合、両方に所属することは可能ですか？	現在の部活動も民間クラブへの入会が許可されていることを聞いており、いたばし地域クラブにおいても自由に選択して参加してもらいたいと思います。
4	どこのクラブに所属するのかを決めた後の手続きは、どうすればよいのでしょうか？（野球）	3月の説明会で手続きなどもご案内させていただきます。
5	いたばし地域クラブで継続して活動した場合も、高校受験の内申加点では、3年間継続したことになるのでしょうか？	いたばし地域クラブの活動についても、学校に申告いただければ、調査書（内申書）に記載していただけることは確認が取れていますが、学校に詳しく聞いてもらった方がよいかと思います。 少なくともこの学校部活動が地域クラブに変わったからといって不利益を生じるということはないと認識しています。 また、私立高校が設定しているような部活動の実績による加点の部分については、独自のシステムなので現時点でどうしようもないところがありますが、大会実績などで、例えば関東大会ベスト8以上という設定だとすると、いたばし地域クラブになっても中学校体育連盟の大会に参加できますので、大会実績という点ではクラブチームだろうと勝ち進めば得られるという点では何も変わらないと思っております。
6	これまでと活動内容はほぼ変わらないということでしたが、それでは毎月1,000円の活動費はどういったことに使われるのでしょうか。	本日（1/28）、令和7度予算のプレス発表を区が行いましたが、野球クラブの創設に関する予算は、ほぼ人件費ということになります。例えば場所も活動時間も同じとは申し上げましたが、責任の主体が学校から教育委員会に変わることになります。そうすると、大人が誰も見えない活動時間があってはいけなく、地域クラブ化した場合は常に大人の方がいるという状況を作り出さなければなりません。仮に顧問の先生が兼業兼職で指導者になるチームにおいても、もう1人の民間の安全確保をするスタッフをどのチームにも配置することになります。クラブチームを運営していく中では、そのような人件費がかかり、その費用の一部として会費を集めさせていただいています。 先行して実施しているeスポーツ、女子サッカーなども、実際にかかる経費に対して会費というものを同じようにお支払いいただいておりますが、運営費の15%とか20%とかをご負担いただいているという状況です。 また、新しい野球の形を展開していく中で、会費相当もしくはそれに見合うプラスアルファの新しい活動を展開していきたいと考えています。

	質問	回答
7	地域クラブ化によって移動が発生することになると思われるが、活動場所への移動については、どうなるのでしょうか？ 通学していない学校で練習が行われる場合、平日に練習を行うのが現実的に難しいのです。これまでのように自校で練習はできないということでしょうか？	今回の野球部の地域クラブ化においては、学校にある部活動を 1 対 1 で地域クラブに置き換えることを原則としています。そのため、活動場所も変わらないので、基本的には移動の問題は発生しないと考えています。 ただ、野球部がない学校の子どもがどこかのクラブチームに所属する場合や 9 人に満たないために合同化をしなければならないチームがあり、一部の生徒については移動の問題が発生します。午後 4 時ごろ学校が終わり、それから 1 番最寄りの近隣校に移動して参加するというのはなかなか難しいと思っています。 そこで、なるべく移動が起きない平日の活動を想定しています。例えば、9 人に満たないチームは、平日はそれぞれのグラウンドで練習していただき、土日については集まってチーム練習をするような形を調整していきたいと考えています。もちろん移動が可能であれば、平日も一緒に活動できる形にします。 ただ、現時点では、自転車の使用のルールなども整備していく必要があるため、今後細かく各学校と調整していきたいと考えています。
8	部活の活動時間というものが設定されている中で、地域クラブになると活動時間は変わるのでしょうか？	現在の部活動の活動時間は、「板橋区立中学校部活動の在り方に関する方針」に基づいて、平日は週4日、2 時間程度、土日はいずれか1日、3 時間程度、1週間で11時間程度を原則としています。 これは子どもたちの肉体的な負担とか様々な合理的な理由の中で国のガイドラインとしても示されており、いたばし地域クラブは遵守していきます。 スタート時点では、現行の部活動の活動時間と変わらない形で地域クラブ化いたします。
9	野球のクラブチームは、通学中学校とは別のチームでも良いのでしょうか？	学校単位からの脱却というコンセプトからするとおっしゃるような仕組みが理想だと思っています。近い将来にそういう形で展開していきたいと思いますが、スタート時においては、選手の人数の問題やチームカラーがはっきりしていないという状況、さらには平日の活動時における移動に関する課題もありますので、現在の通学していただいてい学校の野球部が置き換わったチームをご案内したいと思っています。 その上で様々な事情がある方々については、個別にご相談いただきたいと考えています。 将来的にはチームの方針などに応じて、移動できる範囲内でチームを選択してもらう状態を作り出したいと考えています。
10	指導者は教師が 8 割引き継ぐとのことだか、残りの 2 割は誰を想定していますか？	後日、スタッフの募集をかけます。 今回の中学校部活動の地域クラブ化は、大きな改革に思われますが、ごく身近に典型的な例がありまして、少年野球がまさにこの形で運営されています。小学生は学校に部活動があるわけではなく、民間クラブの少年野球チームに所属しており、野球文化というものが日本、板橋区においても根付いています。 指導者は、いたばし地域クラブの取組みに賛同していただける方を広く募って、参加していただくことを考えています。。
11	指導者は、時間をかけて教員から民間の指導者に移行していくことになるのでしょうか？	中学校の先生は、ライフスタイルの状況や世代間によって部活動の顧問を「今はやりたい」「今は大変」といった中で、先生である限り続けなければいけない状況にあります。教員の働き方改革としては、やりたい先生はやれる、やりたくない先生はやらなくてもよいシステムを作り上げるいう考え方があります。 部活動を地域クラブ化することで、先生方も民間の指導者においても身分等に関係なく、協力していただける方は協力してもらうといったような形になり、結果として教員から民間の指導者に移行していくことはあるかと思います。
12	活動日が重ならなければ地域クラブには二つ入れますか？	令和 7 年度より 2 つの個別クラブに入ることができるようにいたします。 また、地域移行の重要なコンセプトの 1 つに、1 人が一つの種目や分野に限ることはなく、複数の種目や分野の活動を同時に体験することについてもあげられています。